

## 6 独自の自然・文化を生かした魅力ある千葉の創造

### (1) 千葉の魅力の向上と活用

○移住・定住促進事業【一部新規】（政策企画課） 35,000千円（R3 20,000千円）

二地域居住を含めた移住・定住をこれまで以上に促進するため、プロモーションビデオによるPRやインフルエンサーによる“リアルタイム体感”事業を新たに実施します。また、移住検討者に対する相談体制を強化するため、都内に本県専任の移住相談員を配置します。

[主な事業]

#### 1 情報発信の強化

- ・プロモーションビデオによるPR【新規】 5,000千円
- ・ちば二地域居住“リアルタイム体感”事業【新規】 6,000千円  
移住検討者に二地域居住を体感してもらうため、インフルエンサーが実際に体験し、その様子や感想をSNSにおいて発信します。
- ・インターネットを活用した情報発信 2,000千円
- ・移住相談会の開催 2,200千円

#### 2 相談・受付体制の強化

- ・千葉県専属相談員の配置【新規】 8,600千円

## ○千葉の海の魅力発信事業【新規】〔一部再掲〕

95,500千円

三方を海に囲まれた千葉県の地理的・文化的特性を生かし、千葉県の宝である海の魅力を県内外に広く発信します。

[事業内容]

### 1 千葉の海のPRのための統一デザイン等の作成（県民生活・文化課） 3,500千円

統一感のある魅力発信を行うため、本県の伝統文化である「萬祝」の柄を現代的にブラッシュアップした新たなデザイン「maiwai（仮）」の作成及び千葉のイメージカラー「chiba blue（仮）」の選定等を行います。

### 2 千葉の海と水辺の魅力発信事業（報道広報課） 40,000千円

本県の「海」や「水辺」が持つ多様な魅力に注目し、効果的な手法・媒体を活用して県内外にその魅力を発信していきます。

### 3 GOGO房総デジタルポイントラリーキャンペーン事業〔再掲〕（観光誘致促進課）

22,000千円

千葉県への誘客をさらに促進するため、千葉ならではの花、海、地形、建物などの思わず写真に撮りたくなるスポットを巡ると、抽選で県産品等、魅力的な賞品が当たるデジタルポイントラリーを実施します。

### 4 スポーツによる地域活性化支援事業（開催準備課） 10,000千円

東京2020大会を契機とし、スポーツの魅力が再認識されたことを踏まえ、県内の豊かな自然を活かしたサーフィンなどのスポーツと、その地域に根差す文化や食材などの魅力を組み合わせた体験ができるようにすることで、千葉でスポーツに親しむ人を増やし、地域の活性化を推進します。

[事業内容]・スポーツと地域資源を組み合わせた地域活性化モデルの作成・実証

・スポーツコンシェルジュの育成のための協議会等の開催

### 5 新しい千葉の食文化創生事業〔再掲〕（流通販売課） 20,000千円

県産農林水産物の持つ素材の良さを生かしつつ本県のイメージアップにつながるような、個性のある新たな「千葉料理」を創出し、県産品にこだわりのある飲食店等で提供することにより、料理を介して本県の魅力を発信します。

## ○ちばワーケーション受入促進事業〔再掲〕（観光企画課）

70,000千円

新たな観光需要であるワーケーションは地域への経済波及効果が高く、また、本県は東京近郊にあって温暖・風光明媚であり、ワーケーション誘致を成功させるポテンシャルを秘めていることから、ワーケーションの受入環境を整備する地域の取組を支援するとともに、企業と受入地域のマッチングを図ります。

[事業内容]

### 1 ちばワーケーション受入促進事業 10,000千円

[実施内容]

- ・ ワーケーション誘致のための情報発信
- ・ 受入地域を探す企業と受入希望地域とのマッチング機会の提供

### 2 ちばワーケーション環境整備事業補助金 60,000千円

[事業主体]

- ・ 市町村、観光協会、同業組合（例：民宿組合など）
- ・ 宿泊事業者を核として関係者で構成された継続的事業実施が見込める団体

[補助率] 2/3以内

[補助限度額] 10,000千円

[補助対象経費] 地域においてワーケーションの受入環境を整備するために要する経費

- ① 地域内関連施設における受入環境を整備する費用
- ② 地域におけるワーケーション環境について情報発信するために要する費用
- ③ ワーケーションの実施を検討する企業等と連携したモデル事業の実施費用
- ④ ワーケーションの地域理解を促す勉強会等の開催費用

## ○千葉の魅力発信推進事業〔再掲〕（報道広報課、観光企画課）

204,000千円（R3 195,500千円）

千葉県の知名度やイメージを高めるため、テレビ、ラジオ、新聞広告による広報に加え、チーバくんを活用した情報発信等により、千葉の魅力を県内外に発信します。

[主な事業]

・ テレビ（在京キー局）による映像情報発信	87,618千円
・ ラジオを活用した情報発信	40,524千円
・ 交通広告	5,000千円
・ 新聞広告	8,062千円
・ チーバくんによる情報発信	33,593千円
・ ちばアクアラインマラソンを活用した魅力発信	18,200千円
・ 観光物産情報ラジオ番組	6,000千円

## ○世界に向けた千葉の魅力発信推進事業〔再掲〕（報道広報課）

50,000 千円（R3 63,800 千円）

千葉の魅力を世界に発信するため、観光地や食、文化を紹介するPR動画の配信や、チーバくんを活用した情報発信に取り組みます。

### [主な事業]

- |                          |          |
|--------------------------|----------|
| ・SNS、チーバくんを活用したプロモーション   | 24,959千円 |
| ・世界に向けた千葉の魅力PR動画の配信      | 8,800千円  |
| ・海外現地メディアを活用した海外への情報発信事業 | 2,721千円  |
| ・成田空港ターミナルビルへの歓迎メッセージの掲出 | 3,520千円  |

## (2) 環境の保全と豊かな自然の活用

### ○県庁舎照明のLED化事業【新規】(管財課) (債務負担行為 539,000 千円)

省電力化により脱炭素社会の実現に貢献するとともに、財政負担の軽減を図るため、県庁舎(本庁舎、中庁舎、南庁舎、議会棟)の照明をリース方式により一括してLED化します。

[照明灯数] 26,587 個 (うちLED化済み 595 個)

[削減効果 (見込)] 二酸化炭素排出量 約 764 トン/年 (約 1,164 トン→約 400 トン)

費用削減効果 約 37,000 千円/年

### ○県立学校照明器具LED化事業【新規】〔再掲〕(教育施設課) 156,000 千円

省電力化により脱炭素社会の実現に貢献するとともに、財政負担の軽減を図るため、県立学校の照明をリース方式によりLED化します。令和4年度は、LED化に向け、照明器具の設置状況を調査します。

[調査内容] 各学校の照明の設置状況、電気容量の減少計算、分電盤の回路確認 等

[対象室] 普通教室、事務室、校長室、職員室、保健室 等

[実施方法] R5年度からR8年度の4カ年で地域ごとに一括発注し整備する。

[削減効果 (見込)] 二酸化炭素排出量 約 2,300 トン/年 (約 3,600 トン→約 1,300 トン)

維持管理費 約 25,000 千円/年 (約 168,000 千円→約 143,000 千円)

### ○公用車における電動車等の導入 186,024千円

脱炭素社会の実現のため、令和4年度の公用車の更新にあたって、環境負荷の少ないハイブリッド自動車を導入します。また、電気自動車やプラグインハイブリッド自動車を一部所属に率先導入し、県民や事業者等への普及啓発に活用します。

[事業内容]

・ハイブリッド自動車の導入 (142 台) 182,483 千円

・電気自動車及びプラグインハイブリッド自動車の導入 (各 1 台) 3,541 千円

## ○循環型社会推進事業（循環型社会推進課）

40,000 千円（R3 19,633 千円）

地球温暖化対策の推進や環境学習の推進など、循環型社会の推進に向けて、県民や事業者の取組を促進するための普及啓発等を実施します。

また、国の地球温暖化対策計画の改定により、新たな温室効果ガスの削減目標が示されたことを受け、「千葉県地球温暖化対策実行計画」の改定を行います。

[主な事業]

- ・地球温暖化対策推進事業 30,000 千円
- ・環境学習等行動計画推進事業 8,000 千円

## ○住宅用設備等脱炭素化促進事業【一部新規】（循環型社会推進課）

338,000千円（R3 300,000千円）

家庭における地球温暖化対策の推進や災害時における電源の確保を図るため、家庭用の燃料電池（エネファーム）や蓄電池の設置経費に対し助成します。令和4年度から、CO<sub>2</sub>排出量削減に効果がある電気自動車やV2H充放電設備(※)の導入に対し、新たに助成します。

※V2H充放電設備…電気自動車等に蓄えた電力を家庭で使用するための設備

[補助先] 市町村（県補助は市町村を通じて実施）

[補助対象]

- ・家庭用燃料電池（エネファーム） 90,000 千円
- ・家庭用蓄電池 196,000 千円
- ・太陽熱利用システム 1,000 千円
- ・窓の断熱改修 16,000 千円
- ・電気自動車【新規】 20,000 千円
- ・V2H充放電設備【新規】 15,000 千円

○海洋再生可能エネルギー導入・産業創出研究事業【一部新規】〔再掲〕（産業振興課）  
6,000千円（R3 4,500千円）

洋上風力発電について、地元の合意形成を図りながら導入の検討を進めるとともに、県内企業の洋上風力発電関連事業への参入を促進するため、セミナーやビジネスマッチング商談会を開催します。

[主な事業]

- ・導入可能性検討会議等の実施 4,520千円
- ・セミナー・ビジネスマッチング商談会の開催【新規】 1,370千円

○千葉の特徴を活かした水素需給モデル調査事業【新規】〔再掲〕（産業振興課）  
10,000千円

ゼロカーボンの実現に向けて、今後、利活用の拡大が期待される水素について、需要と供給の両面でポテンシャルを持つ本県の特徴を活かした需給モデルを創出していくため、必要な調査を実施します。

[調査内容]

- ・本県における水素の潜在的な需給量の見える化
- ・水素供給網の可能性の探索・検討と需給モデルの提示
- ・供給網構築に向けた技術的課題の整理 等

○ゼロカーボン促進信用保証料補助金【新規】〔再掲〕（経営支援課） 10,000千円

県内中小企業のカーボンニュートラルの取組を支援するため、中小企業振興資金を利用して設備の導入等を行う場合に信用保証料の一部を助成します。

[補助対象] 中小企業振興資金（環境保全資金）のうち、ゼロカーボン促進事業を利用する  
中小企業者

[補助率] 利用者が負担する信用保証料の1/2

○ CO<sub>2</sub>ゼロエミッション技術支援事業【新規】〔再掲〕（安全農業推進課） 4,000千円

脱炭素社会の実現のため、野菜などの作付けの間の休閑期に緑肥を栽培し、地中にすき込むことにより、土壌への炭素貯留を促進し、化学農薬・肥料の使用量の削減に取り組む産地に対し、その経費の一部を助成します。

〔実施主体〕 緑肥を栽培する産地

〔補助要件〕 県が定める化学農薬・肥料の使用量の2分の1以下で栽培していること

〔補助率〕 2,000円/10a（定額）

○有機農業産地づくり推進事業【新規】〔再掲〕（安全農業推進課） 20,000千円

地域ぐるみで有機農業に取り組む市町村等の取組を推進するため、有機農業の団地化や学校給食での利用などの経費に対して助成します。

〔実施主体〕 市町村等

〔補助率〕 定額

〔補助対象〕

- ・ 専門家等からの意見の聴取
- ・ 試行的な取組の実施（団地化、学校給食での利用、量販店での有機コーナー設置等）
- ・ 実施計画の取りまとめ

○環境保全型農業直接支援対策事業〔再掲〕（安全農業推進課）

47,830千円（R3 47,830千円）

化学農薬・肥料の使用を2分の1以上低減したうえで、地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動に取り組む農業者グループ等に対し、取組面積に応じて交付金を交付します。

〔交付金単価〕 堆肥施用4,400円/10a、有機農業14,000円/10a等

〔負担割合〕 国50%、県25%、市町村25%

〔予定面積〕 600ha

○野生鳥獣総合対策事業〔再掲〕（自然保護課） 669,168千円（R3 644,916千円）

野生鳥獣による農業被害・生活被害を防止するため、市町村が実施する有害鳥獣捕獲事業への助成を行うとともに、イノシシ及びニホンジカについては生息域拡大を防止・縮小させるため、県が捕獲事業を実施します。

## ○イノシシ等有害獣被害防止対策事業〔再掲〕（農地・農村振興課）

393,172千円（R3 367,172千円）

イノシシなど有害獣による農作物被害を防止するため、市町村等で構成する「対策協議会」が実施する防護柵の設置や捕獲機材の購入などについて助成します。また、地域と協働して、農作物被害を低減させるための効果的な対策手法を検証するとともに、被害対策に取り組むための体制構築を支援します。

## ○外来種特別対策事業（自然保護課）

147,400千円（R3 121,119千円）

生態系や農林水産業等への影響を及ぼすおそれのある特定外来生物について、計画的な防除や生息状況調査を実施します。

[主な事業]

・キョン（捕獲・調査）	32,007千円
・アカゲザル（捕獲・調査）	57,330千円
・カミツキガメ（捕獲）	37,658千円
・アライグマ（調査・わな貸出等）	20,205千円

## ○湖沼における外来水生植物対策事業【一部新規】（水質保全課）

249,674千円（R3 110,069千円）

ナガエツルノゲイトウやオオバナミズキンバイなどの外来水生植物が印旛沼及び手賀沼とその流域河川で急速に繁殖しており、水質・生態系などへの影響や農業・漁業被害などが懸念されることから、計画的な駆除等を進めます。

令和4年度は、手賀沼及び流域河川において計画的駆除を進めるとともに、新たに印旛沼及び流域河川において計画的駆除を開始します。

また、市民団体が外来水生植物を駆除する活動に要する経費について新たに助成します。

[事業内容]

・手賀沼及び流域河川における計画的駆除	127,744千円
・印旛沼及び流域河川における計画的駆除【新規】	111,930千円
・市民団体における外来水生植物防除事業補助【新規】	10,000千円

○海岸漂着物対策推進事業（循環型社会推進課） 77,725千円（R3 83,408千円）

海岸における景観や安全性を守るため、国の補助金を活用し、海岸漂着物の回収・処理や発生抑制に向けた啓発等を実施します。

[主な事業]

- |                      |          |
|----------------------|----------|
| ・重点区域における海岸漂着物の回収・処理 | 52,500千円 |
| ・市町村が実施する事業への間接補助    | 17,184千円 |
| ・発生抑制対策事業            | 3,750千円  |

○生活排水対策浄化槽推進事業（水質保全課） 230,000千円（R3 240,000千円）

市町村が実施する、単独処理浄化槽・くみ取り便所から合併処理浄化槽への転換や、高度処理型合併処理浄化槽の設置を促進する事業に対し助成します。

[補助先] 市町村

[補助率]

- |               |      |
|---------------|------|
| ・個人設置型        | 1/3  |
| ・市町村設置型       | 4/30 |
| ・高度促進補助       | 1/2  |
| ・転換に係る撤去・配管費用 | 1/2  |

○産業廃棄物不法投棄監視等事業（廃棄物指導課） 82,000千円（R3 82,000千円）

産業廃棄物不法投棄の早期発見・未然防止のため、県内全域を対象とした24時間365日対応の監視パトロール及び不法投棄等が行われている可能性が高い箇所への集中監視業務を実施します。

[事業内容]

- |                                 |          |
|---------------------------------|----------|
| ・不法投棄等の不適正処理等に係る監視パトロール         | 70,353千円 |
| ・産廃・残土110番に係る対応業務               | 1,455千円  |
| ・不法投棄等が行われるおそれの高い箇所におけるスポット監視業務 | 10,192千円 |

### (3) 千葉の特徴・歴史を生かした文化・スポーツ振興

#### <文化芸術の振興>

#### ○「ちば」の文化芸術発信事業（県民生活・文化課） 20,000 千円

伝統文化等の保存・継承に取り組むとともに、将来の文化芸術の担い手を育成し、優れた文化芸術活動の発展につなげるため、本県の魅力的な文化芸術を発信する舞台公演を県民が参加できる形で行います。

##### [事業内容]

##### ・日本の伝統芸能 5,324千円

青葉の森公園芸術文化ホールの能舞台において、プロの狂言師による公演を行うほか、プロの指導のもと子どもたちによるワークショップを行うなど、伝統芸能に触れる機会を提供します。

##### ・「ちば」の伝統文化 4,719千円

本県ゆかりの邦楽演奏家によるコンサートを行うとともに、楽器の演奏体験等を行います。また、地域の郷土芸能団体等による実演を行い、本県の伝統文化の魅力を発信します。

##### ・ちば文化芸術シンポジウム&ミュージカルコンサート 9,957千円

本県ゆかりの様々なジャンルで活動するアーティストや、芸術を支援する企業などを招きトークセッションを行うほか、魅力的なミュージカルナンバーの演奏を行い、県民に積極的に文化芸術活動に参加してもらうための契機とします。

#### ○「県民の日」事業（県民生活・文化課） 75,000 千円 (R3 74,000 千円)

幅広い世代の県民が、「県民の日」を通してふるさと千葉の魅力を再発見できるよう、幕張メッセで県民参加・体験型の中央イベントを開催するとともに、県内各地で地域行事を開催します。

##### [主な事業]

- ・中央行事の開催 51,000 千円
- ・地域行事の開催 11,000 千円
- ・「県民の日」の広報 3,000 千円

#### ○千葉県少年少女オーケストラ育成事業（県民生活・文化課）

36,734千円 (R3 36,734千円)

千葉県少年少女オーケストラの育成のための経費を助成します。

##### [事業内容]

- ・少年少女オーケストラ助成事業 9,000千円
- ・運営費補助 27,734千円

○千葉県文化会館大規模改修事業（県民生活・文化課） 198,769千円（R3 49,364千円）  
 （債務負担行為 59,000千円）  
 （継続費 11,743,000千円）

建築後50年以上が経過し、建物の老朽化が進んでいる千葉県文化会館について、大規模改修工事に着手するため、継続費を設定します。

[事業内容]

- ・大規模改修工事実施設計 181,700千円
- ・聖賢堂解体工事実施設計 6,700千円
- ・備品一時保管業務委託 10,369千円  
 （債務負担行為 59,000千円）
- ・大規模改修工事費等 （継続費 11,743,000千円）

[継続費に係る事業費]

(千円)

年度	改修工事費	工事監理等委託費	合計
令和4年度	0	0	0
令和5年度	594,320	51,957	646,277
令和6年度	6,185,900	43,893	6,229,793
令和7年度	4,827,420	39,280	4,866,700
合計	11,607,640	135,130	11,742,770

○中央博物館特別展等の開催（文化財課） 33,000千円（R3 16,996千円）

本県ならではの海の魅力に親しむことができる特別展等を開催します。

[事業内容]

- ・「鯨（仮称）」の開催 26,000千円  
 [開催時期] 令和4年7月中旬～令和4年9月下旬の64日間（予定）  
 [展示構成] シャチのはく製、イッカクの雄雌の骨格、古式捕鯨や近代捕鯨にまつわる道具  
 鯨骨製腰飾、ほか関連資料
- ・秋の展示「おはまおりー房総の海の文化を考えるー（仮称）」の開催 7,000千円  
 [開催時期] 令和4年10月下旬～令和5年1月上旬の62日間（予定）  
 [展示構成] 飯香岡八幡宮神輿・僧形八幡神像（県指定文化財）、鹿島神社神輿、奴行列式具  
 ほか、関連資料（予定）

○県立美術館活性化事業（文化財課）

8,627 千円（R3 6,729 千円）

美術館活性化のため、常設展の充実を図ります。

- ・「アート・コレクション名品展（仮称）」の開催 2,350千円

千葉県立美術館が所有する目玉作品を一挙に展示する展示会を開催します。

[開催時期] 令和4年7月下旬～令和4年9月中旬の47日間（予定）

[展示構成] 洋画・彫刻等約20点（予定）

- ・「山下麻衣＋小林直人展（仮称）」の開催 6,277千円

本県ゆかりの現存アーティストによる作品展を開催します。

[開催時期] 令和5年1月下旬～令和5年3月中旬の48日間（予定）

[展示構成] 映像作品約10点（予定）

○文化財保存整備助成事業（文化財課）

55,000 千円（R3 54,800 千円）

文化財の適正な保存管理とその活用を図るため、国・県指定文化財の保存整備・修理等の事業に対して助成します。

[補助対象] 国指定文化財10件、県指定文化財7件 計17件

[補助率] 国指定文化財 国庫補助額を控除した額の1/2以内  
県指定文化財 1/2以内

## <スポーツの振興>

### ○千葉県競技力向上推進本部事業（体育課） 205,000千円（R3 200,000千円）

本県スポーツ選手の育成・強化を図るとともに、スポーツを通じた活力ある地域づくりを推進するため、千葉県競技力向上推進本部が行う事業に対し助成します。

[事業内容]

- ・国体選手等強化・サポート事業
- ・ちばジュニア強化事業
- ・スポーツ医・科学サポート事業 等

### ○総合スポーツセンター体育館整備事業【新規】（体育課） 25,000千円 (債務負担行為 67,000千円)

令和元年台風15号の被害により利用停止中の総合スポーツセンター体育館について、大規模大会が実施可能な競技スペースの確保や利便性の向上を図るため、現地での建替えを行います。

[事業内容] 解体設計及び測量調査 25,000千円  
基本設計 (債務負担行為 67,000千円)

[供用開始] 令和10年度中(予定)

### ○ちばアクアラインマラソン開催事業（体育課） 135,900千円（R3.9補正後 56,000千円）

スポーツを通じた健康増進や体力向上の促進と、千葉県が有する様々な魅力を発信するため、6回目の大会となる「ちばアクアラインマラソン2022」を開催します。

[開催日程] 令和4年11月6日(日)

[種目等] フルマラソン12,000人(参加料16,500円)

ハーフマラソン・車いすハーフマラソン5,000人(参加料13,500円)

**○スポーツによる地域活性化支援事業【新規】〔再掲〕（開催準備課） 10,000千円**

東京2020大会を契機とし、スポーツの魅力が再認識されたことを踏まえ、県内の豊かな自然を活かしたサーフィンなどのスポーツと、その地域に根差す文化や食材などの魅力を組み合わせられた体験ができるようにすることで、千葉でスポーツに親しむ人を増やし、地域の活性化を推進します。

[事業内容]

- ・スポーツと地域資源を組み合わせられた地域活性化モデルの作成・実証
- ・スポーツコンシェルジュの育成のための協議会等の開催

**○障害者スポーツ振興事業【一部新規】（障害者福祉推進課）**

**54,000千円（R3 32,265千円）**

東京2020パラリンピック競技大会のレガシーを活用し、引き続き障害者スポーツを広く県民に周知するとともに、障害のある人がスポーツに親しめる環境を整備します。

[主な事業]

**1 障害者スポーツ交流大会 7,500千円**

障害のある人もない人も参加できる交流試合や体験会を、千葉地区に加え新たに東葛地区でも開催し、障害者スポーツの普及を図ります。

**2 障害者スポーツ大会等コーディネーター派遣事業 12,200千円**

地域で障害者スポーツ大会等を開催する場合や、市町村や障害者施設を運営する法人等が障害者スポーツの拠点づくりをする場合にコーディネーターを派遣して支援します。

**3 障害者スポーツ競技団体支援事業 5,200千円**

障害者スポーツを広く県民に周知するため、障害者スポーツ競技団体が実施する競技体験会等に対し助成します。

**4 パラアスリート等学校訪問事業【新規】5,445千円**

県内の小中学校にパラアスリート等を派遣し、講演会や障害者スポーツ体験会の実施を通じて、障害のある人への児童生徒の理解を深めます。

**5 パラ「旅」応援事業 5,000千円**

移動に困難を伴う障害のある人が障害者スポーツ観戦等を行う場合に支援します。

○国際障害者スポーツ競技大会支援事業【新規】（障害者福祉推進課） 10,000 千円

障害者スポーツの振興を図るため、県内で開催される世界選手権などの国際競技大会に要する経費の一部を助成します。

[補助対象事業]

- ① パラリンピック、デフリンピック、スペシャルオリンピックス世界大会その他これらに準ずる国際競技大会の実施競技
- ② 世界選手権やアジア選手権、パラリンピック予選大会などの国際競技大会で次のいずれかに該当するもの
  - ・国際的な競技団体が主催又は開催に関与する大会
  - ・国内の競技団体が主催又は開催に関与する大会で、一定規模以上の大会
- ③ 大会開催地の市町村と連携した大会参加者と観客・地域住民との交流会や体験会など、障害者スポーツの認知度向上や共生社会の実現に資する取組が行われるもの

[補助率等] 開催経費の 1/4 以内（10,000 千円上限）

[補助対象者] 県内市町村又は県内市町村が構成員となる団体、国内競技連盟

○障害者スポーツ・レクリエーションセンター施設整備事業（障害者福祉推進課）

4,000 千円

障害者スポーツ・レクリエーションセンターについて、施設機能の充実を図るため、体育室の空調整備に着手します。

また、建築から 36 年が経過し、施設・設備の老朽化等の課題が生じていることを踏まえ、将来的な障害者スポーツ・レクリエーションセンターのあり方について検討を行います。

[事業内容]

- 1 体育室空調整備基本計画策定 3,300 千円
- 2 障害者スポーツ・レクリエーションセンターのあり方の検討 700 千円

○パラアスリート強化・支援事業【一部新規】（体育課） 30,450千円（R3 20,000千円）

本県にゆかりのあるパラアスリートが、競技力向上に励めるよう、世界選手権等に出場が期待される選手を支援するとともに、新たに全国大会等で実績のあるパラスポーツチーム等に対しても支援します。

（１）アスリート強化支援 29,450千円（R3 20,000千円）

[対象者] 県内の学校の生徒・学生、県内在住又は在勤者 等

[選考基準] 日本代表選手、国内最上位大会入賞者 等

[対象競技] パラリンピック実施の28競技

（２）パラスポーツチーム支援【新規】 1,000千円

[対象団体] 県内に活動拠点があり、全国大会等での実績のあるチーム・団体

[選考基準] 県の強化指定選手が所属するチーム・団体、  
国内最上位大会で3位以内のチーム・団体 等

[対象競技] パラリンピック実施の28競技

[支援額] 100千円

○「新たなスポーツ」の普及促進事業【新規】（開催準備課） 8,500千円

あらゆる人がスポーツを楽しめるよう、ユニバーサルスポーツ(※1)やアーバンスポーツ(※2)等の「新たなスポーツ」について、普及促進を図ります。

また、体の動きに連動して画面上のアバターが動くバーチャルスポーツ等、誰もが一緒に楽しめる新しい分野のスポーツの研究に取り組みます。

※1…障害の有無や年齢などに関係なく、様々な人が一緒にできるレクリエーションの性質を含むスポーツ（ボッチャ、ペタンク等）

※2…広い競技場などを必要とせず都市の中でできる、若者の遊びから生まれたスポーツ（BMX、スケートボード等）

[事業内容] ・地域のスポーツクラブや市町村、学識経験者等で組織する協議会を通じたユニバーサルスポーツ等の普及促進

・バーチャルスポーツの体験会・実証実験等